慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1961
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.54, No.8 (1961. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610801001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田學會雜誌

1961年 8月号

論 説

一九六〇年度の国税構造が持つ 税収の所得弾力性および限界租税函数高 木 寿 一
社会的価値判断と政策プロセス加藤 寛 2
·····································
十七世紀フランス農村の構成渡 辺 國 廣 4 ——— つ の 事 例 ——
武蔵国東部における監業佐々木陽一郎 5 ——武蔵国葛飾郡西大輪村白石家の場合——
研究ノート
イギリス産業革命史研究についての覚え書飯 田 鼎 8-
标道進著『社会主義企業経済学』平野絢子101
白杉庄一郎著『独占理論の研究』井村 喜代子 106
卜林謙一著『就業構造と農村過剩人口』高 山 隆 三 113
新刊紹介

54巻 8

89的36年8月1日 兔 行(每 月 ~ 日 兔 行)8的36年2月13日 国鉄特別技术認識統第一、九〇三号39的36年10月24日 第三任郵便物提可

三日台名森

日末三一フ全国リテ

定価 金九〇円 (运)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 54, No. 7

July, 1961

CONTENTS

Über die sogenannte historische regelmäßige oder gar notwendige Verbindung von Benefizium und Vasallität	page <i>H. Uono</i> 1
Some Problems on the Study of History	
of German Working Class Movement —A Critique on Walter Bartel; Die Linken in der deutschen Sozialdemokratie im Kampf gegen Militarismus und Krieg, 1958 The Seigniory in the Seventeen Century	, K. Iida 25
France; A Regional Example	Watanabe 44
Survey of Academic Circles	
On the Theory of the Co-operative	A. Hirano 55
Book Reviews	
The Theory of Public Finance,	
by R. A. Musgrave	ird
Reich, translated by Isamu Inoue	K. Iida 67
The Reformation, by Tomoo Matsuda	. M. Terao 71
by R. S. Howey	Mochimaru 77
by Rokuro Tsuchiya	H. Fukami 81

Published for

KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI

(The Keio Economic Society)

Editorial communications to be sent to the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai, Keio University,

Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Price 90 yen

九六〇年度の国税構造が持つ

税収の所得弾力性および限界租税函数

高 木

寿

間 題 提 0 味

この課題については、マスグレーブ(Musgrave)の研究そのほかがある。わが国において、この理論を簡明に提示し検討 現代の財政政策理論の一つの課題として、Built-in-Stabilizer の問題がある。

しているすぐれた一例は、 林栄夫教授の「ビルト・ イン・スタビライザー」(昭和三五年三月)であろう。

薦している。 林教授のこの著書はビルト・イン・スタビライザーの理論の理解を進めるに極めて有益であって、 私は殊に若い読者に推

しろ緩和する作用を持っている―その作用を現わす要因を内蔵している―その作用はいかなる過程を通じて実現するのかと う課題として、 ビルト・イン・スタビライザーは、その国の財政構造のうちに、経済変動ないしは景気変動を自動的に調節する作用―む 私は関心を持っている。

九六〇年度の国税構造が持つ税収の所得弾力性および限界租税函数

新刊紹介

渡部正一著『日本近世道徳思想史』島	崻	隆	夫	118
モラゼ 著『経 済 史 入 門』渡 陽村・竹岡訳『経 済 史 入 門』	辺	國	廣	119
大原總一郎著『化学繊維工業論』佐	藤	芳	雄	120
カール・マルクス著 マルクス=エンゲルス全集訳『資本論』(第一分冊)飯 刊 行 会訳	H	裕	康	120
コッター社版『マルクス著作集』(全八巻)飯	Ш	裕	康	122